

第 7 回 本明川ダム建設事業 環境保全検討委員会 議事要旨

日 時：令和 6 年 3 月 13 日（水） 14：00 ～ 16：00

場 所：長崎河川国道事務所

事務局からの説明

- ・現時点の事業進捗について報告した。
- ・本事業に係る環境保全の取り組み状況について報告した。
- ・令和 5 年度の事後調査報告書の内容について報告した。
- ・令和 6 年度の事後調査計画書の内容について報告した。

主な議事

○環境保全の取り組みについて

【水 質】

- ・出水時の流量と SS 負荷量の関係を見ると、本明川は出水規模が大きくなると流域からの濁質成分の流出が多くなる特徴があると考えられるため、水質に限らず動植物も含めた環境保全の取り組みは、流域の環境変化にも留意しながら進めること。
- ・貯水池の存在により海へ流れるべき栄養塩が減少しないようにするなど、ダム供用後は適切な水質の管理に努めること。

【動 物】

- ・ダム本体工事で広く裸地が出現すると、地下浅層に生息する昆虫類が出現する可能性もあるため、動物巡視において留意すること。

【生態系】

- ・ビオトープは地域の動植物が生息・生育する場所とし、他の地域からの生物を持ち込むことは避けること。また、そのような地域資源を活かした環境教育を実施してほしい。

【景 観】

- ・セイタカアワダチソウが優占する法面も見られるが、地域の生物多様性及び景観面から望ましいものではないため留意すること。

○その他

- ・環境学習会では生き物に関心を持つ児童が多いと感じており、今後ますます発展させてほしい。